

【中学校教職員対象】

岡山市部活動地域移行に関するアンケート調査結果



令和6年3月

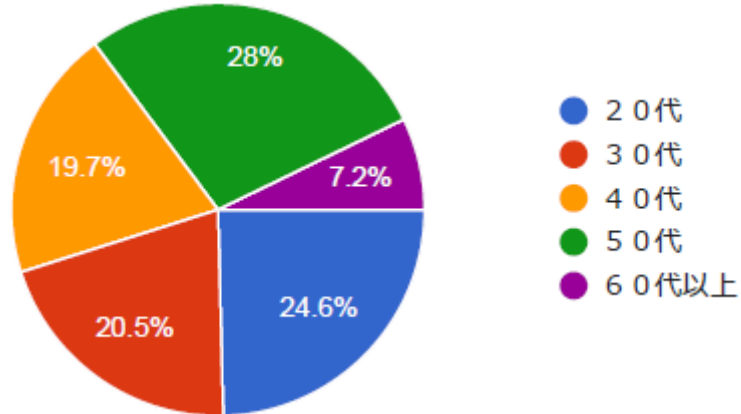
岡山市教育委員会

岡山市市民生活局

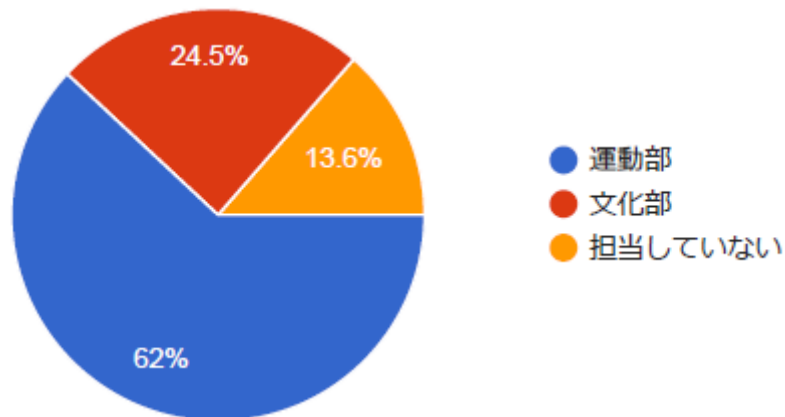
岡山市部活動地域移行に関するアンケート調査回答結果（確定値）

I あなた自身について教えてください。

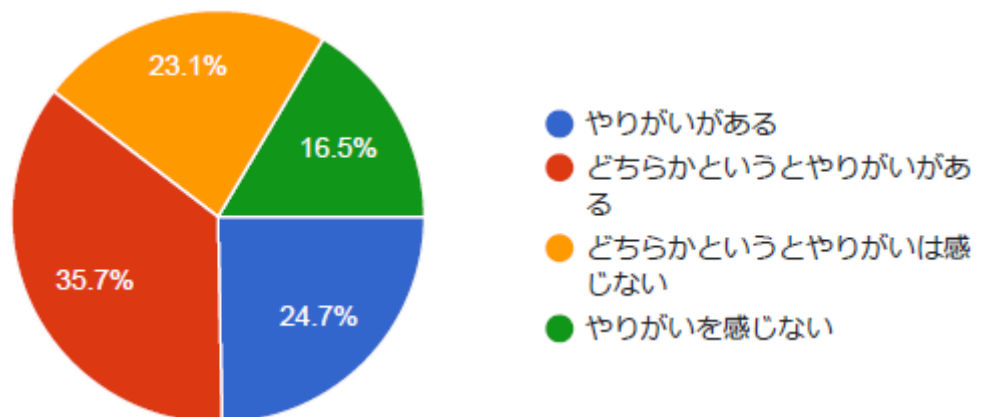
1. 年代を選択してください。（N=736）



2. あなたが現在、担当している部活動は何ですか。（N=736）

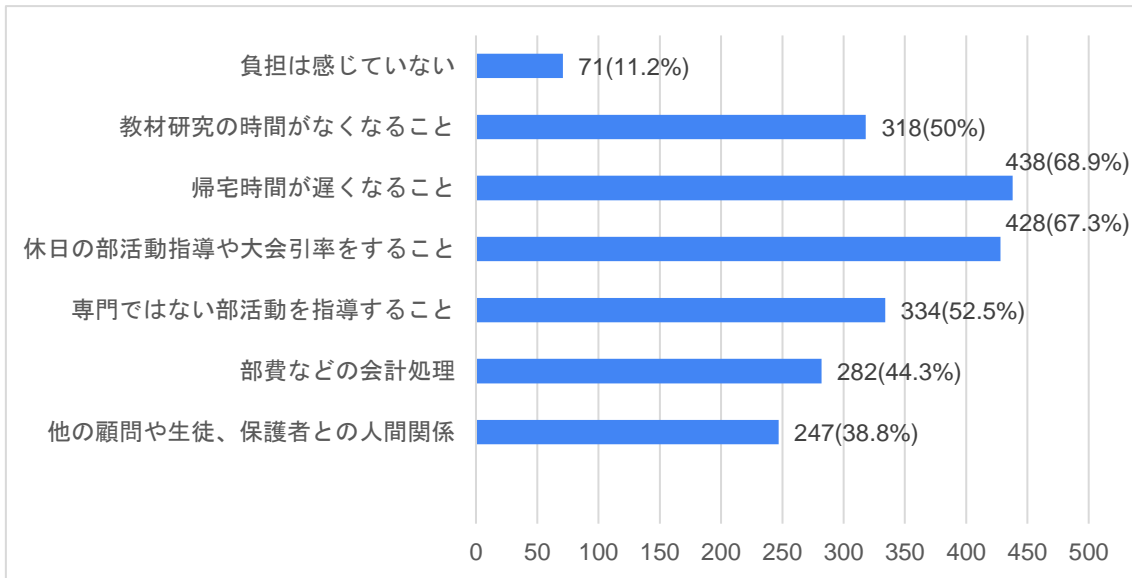


3. 部活動指導について、次から1つ選んでください。（N=636）



教職員の約6割が部活動指導について「やりがいを感じている」一方で、約4割が「やりがいを感じない」と回答した。

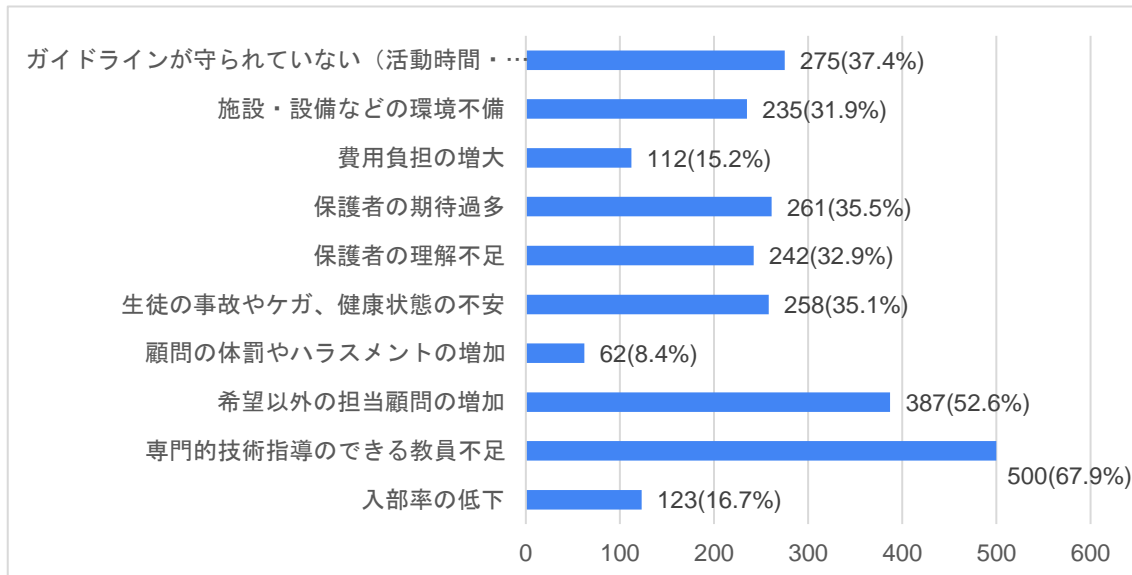
(複数回答可) (N=636)



平日及び休日の部活動指導により、その他の業務が時間外にずれ込むことや大会引率等で長時間の従事となり、「帰宅時間が遅くなること」に最も多く負担を感じていると考えられる。

また、半数以上の顧問が「専門でない部活動の指導をすること」について、負担を感じている。

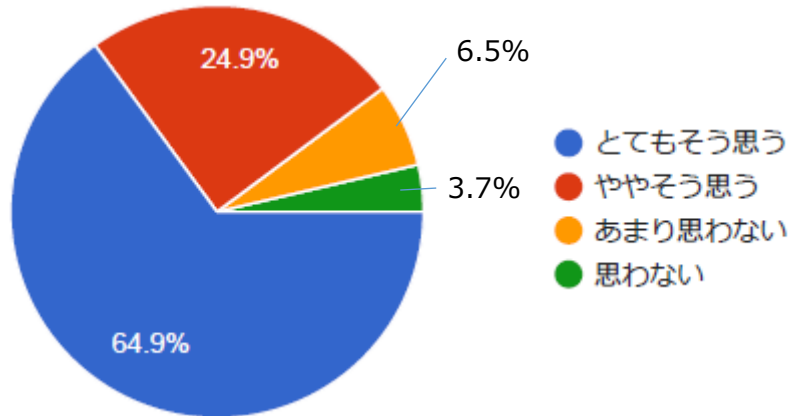
5. 現在の部活動の問題点と感ずることは何ですか。(複数回答可)  
(N=736)



「専門的な指導ができる顧問不足」や「希望以外の顧問の増加」が最も多く、「専門でない部活動の指導をすること」が問題意識を感じている。

また、活動時間や適切な休養日の設定などの「部活動ガイドラインが守られていない」ことについて、約4割が問題意識を感じている。

6. 教職員の働き方改革を進めるうえで、現在の部活動の在り方を変える必要があると思いますか。(N=736)



7. 6について、理由があればお書きください。

【理由】

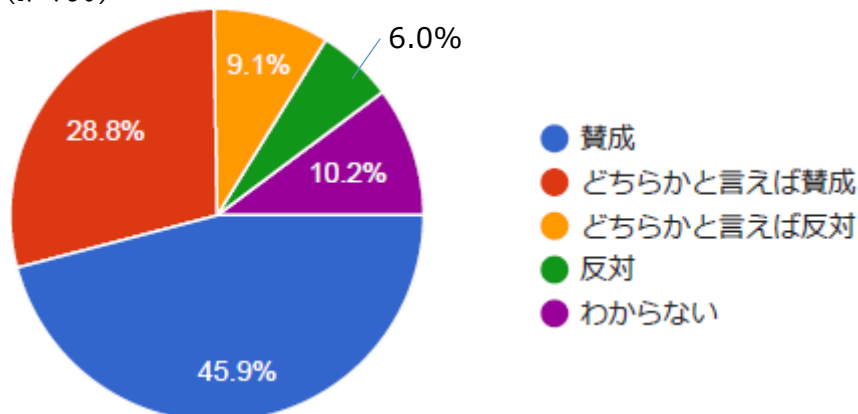
- ・勤務時間が長くなるため
- ・部活動は仕事の一環なのに、適切な賃金が支払われていない
- ・ガイドラインは守っているが、実質休日は全て出勤している
- ・部活動顧問も半強制的であるため、ライフワークバランスがとれない 等

約9割の教職員が、働き方改革を推進するうえで、部活動の在り方を変える必要があると回答した。

理由として、部活動指導による時間外勤務の増加や長時間勤務の現状が最も多く挙げられた。

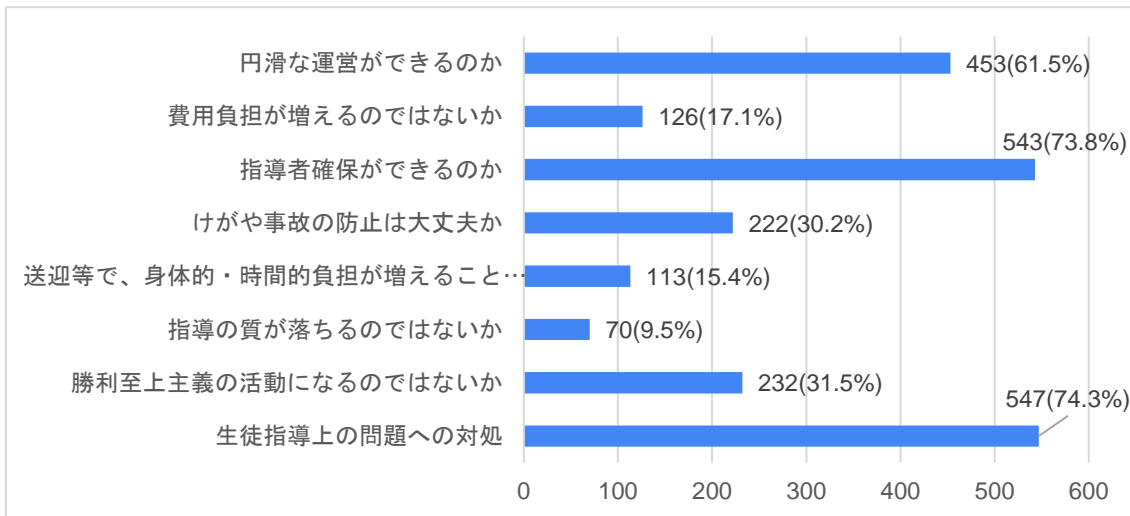
II 部活動の地域移行について教えてください。

8. 休日の可能な部活動から段階的に移行を進めることについて、どう思いますか。(N=736)



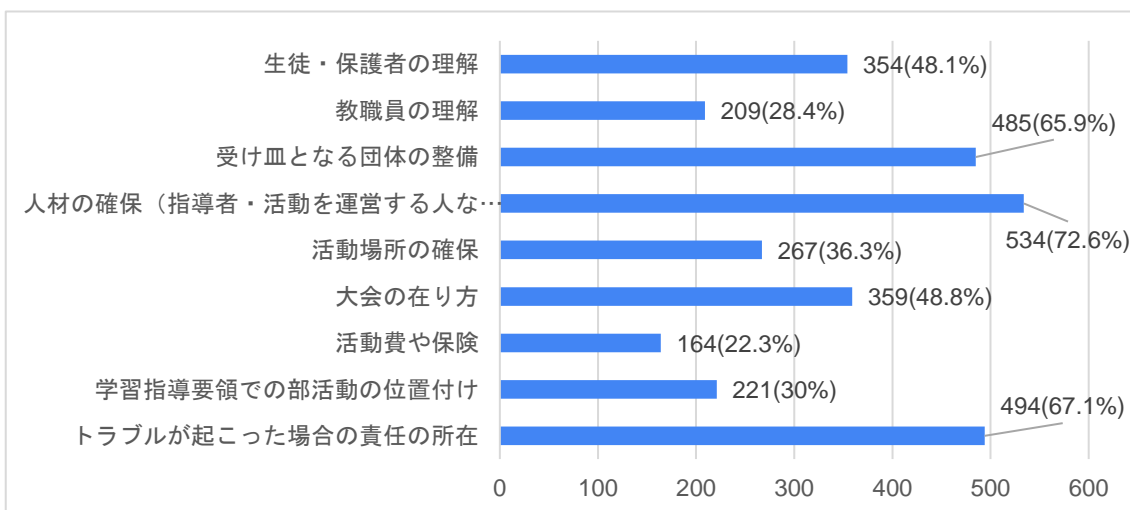
約7割の教職員が、休日の部活動の段階的な地域移行を進めることについて賛成と回答している。

9. 部活動が地域移行される場合、不安に感じることは何ですか。次のうちから選んでください。（複数選択可）（N=736）



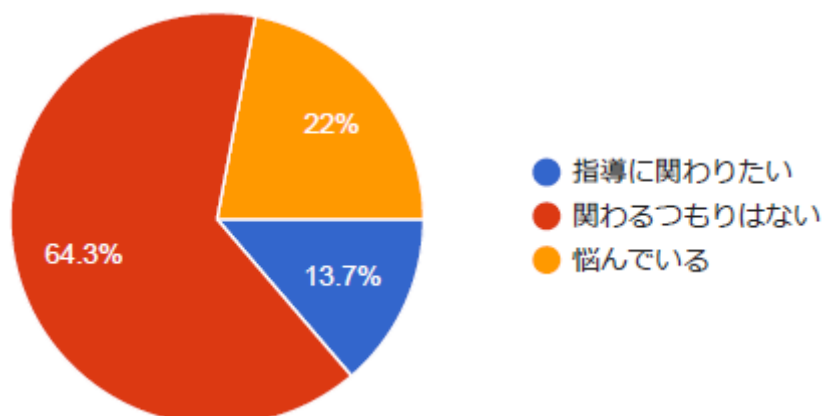
部活動の地域移行にあたり、顧問が担っていたトラブルへの対処や保護者との連携を含めた「生徒指導上の問題点への対処」について、最も不安を感じている。  
また、生徒指導上の対処が可能な指導者の確保ができるのかについて、不安を感じている。

10. 「地域移行」に向けて、解決すべき最も大きな課題は何だと考えますか。（複数回答可）（N=736）



部活動の地域移行にあたり、指導者や運営を担う団体の確保について、課題を感じている傾向がある。  
また、「トラブルが起こった場合の責任の所在」について、不明瞭であるため課題意識が高い傾向にあるものと考えられる。

11. あなたは、休日の部活動が学校の活動ではなく、地域で行われるスポーツや文化活動となった場合、指導への関わりについて、どのように考えますか。  
(N=736)



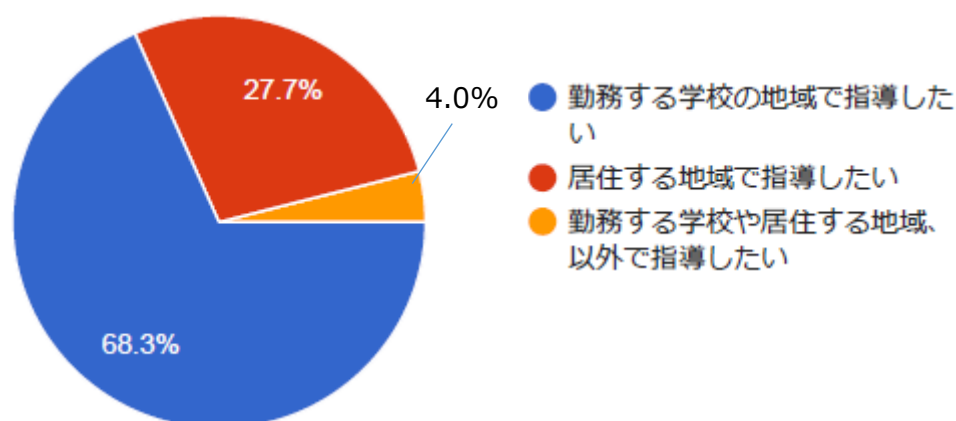
部活動の地域移行に伴い、地域で行われる活動の指導への関わりについて、13.7%が「指導に関わりたい」と回答した一方で、64.3%が「関わるつもりはない」と回答した。

12. 11 の理由をお書きください。(N=635)

【理由】

- ・ 生徒指導の観点から部活動に教員が関わることにはとても意味があると思うが、外部指導者の立場になると中途半端になりそうだから。
- ・ 何のための地域移行かわからなくなるから。 等

13. どこで指導したいと考えますか。(N=101)



問11で「指導に関わりたい(13.7%)」のうち、「勤務校の地域での指導」を希望する割合が、約7割となった。平日の部活動の連携した指導を望んでいるものと考えられる。

14. 地域移行に関するご意見があればお書きください。(N=308)

【主な意見】

- ・ 部活動における教員と生徒とのつながりは、学校を支えてきた柱の一つであると思いますが、それが一部の人の負担によって成されてきたのも事実です。負担軽減の方向にシフトするのは必要なことなのだろうと思います。
- ・ 早く地域移行してほしい。そして、教員の労働環境を改善してほしい。大変だとは思いますが、教職員の働き方改革のため、地域移行への動きを加速させていただきますようよろしくお願いいたします。1日も早く部活動顧問の負担が減り、本来の一番の業務である教材研究やクラス運営の準備をしっかり取れる時間を確保していただきたいです。そして土日は教職員の心身をリフレッシュするため、部活動から早く手を離したいです。もう限界です。本当によろしくお願ひします。
- ・ 前述の通り、あまり賛成派ではありません。移行するならば、部活動という仕組みを廃止し、全てクラブチームのような、学校とは切り離れたものにするべきではないかと思ひます。そこまでしないと、移行すると言ひながらうまくいかず結局教員が指導することになり、何も変わらずに終わる気がするからです。
- ・ 休日から段階的に移行するのは生徒の混乱をまねき、うまくいかないと思ひう。また、休日は生徒指導等もなく、部員と向き合う時間がとれるし、教員にも手当が出ている。逆に、平日に生徒指導が起きたり急な会議が入ったりし部活が見られないことが多く、時間外の手当もないので、どうせなら、平日からの地域移行にしてほしい。
- ・ 休日の部活動指導は、平日ではできない部員と向き合う時間が確保できることや手当も出ることから、平日の地域移行を考えて欲しい。
- ・ 平日と休日で指導する指導者が違ふことは、うまく成り立たないと思ひう。
- ・ 大会出場を目的にするのではなく、生涯スポーツの観点で取り組めるようになることを願ひう。
- ・ 移行するなら部活動という仕組みを廃止して、学校から切り離れた活動にするべき。
- ・ 教員の負担を考えると賛成だが、大会運営が困難となり、逆に教員の負担が増加するのではないか。 等